

ヴィオラスペース2018 vol.27
第4回東京国際ヴィオラコンクール
2018年5月26日(土)～6月3日(日)
募集要項

1. コンクール概要

東京国際ヴィオラコンクールはアジア唯一の国際的なヴィオラ単独のコンクールです。1992年、世界的ヴィオラ奏者・今井信子の提唱によりユニークなヴィオラ音楽の祭典『ヴィオラスペース』が誕生しました。「ヴィオラの礼賛」、「優れたヴィオラ作品の紹介と新作発表」、「若手の育成」の3つをコンセプトに「若手演奏家のための公開マスタークラス」と「コンサート」を毎年開催しています。

2009年には、その活動の一環として『東京国際ヴィオラコンクール』が創設されました。このコンクールは、3年に1度開催するもので、コンクールの入賞者には、翌年以降のヴィオラスペースへの出演が約束されます。

当コンクール期間中には、毎年ヴィオラスペースの流れを汲んだ「若手演奏家のための公開マスタークラス」や「コンサート」が同時開催され、ヴィオラの多彩な魅力とあらゆる可能性を追求していきます。

1) 名称

ヴィオラスペース2018 vol.27
第4回東京国際ヴィオラコンクール

2) 開催期間

2018年5月26日(土)～2018年6月3日(日)

3) 会場

上野学園 石橋メモリアルホール
〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12 学校法人上野学園内
電話:03-3843-3043(受付時間:平日10:00～17:00)
<http://www.ishibashimemorial.com>

4) 審査委員

今井信子(審査委員長)

ヴィオラ奏者/アムステルダム音楽院教授 クロンベルク・アカデミー教授 ソフィア王妃高等音楽院教授
上野学園大学特任教授 北京中央音楽院客員教授

アントワン・タメスティ(副審査委員長)

ヴィオラ奏者/クロンベルク・アカデミー講師 カーティス音楽院講師
ヴィオラスペース・プログラミング・ディレクター

ハリオルフ・シュリヒティヒ

ヴィオラ奏者/ミュンヘン音楽大学ヴィオラ科及び室内楽科教授

パメラ・フランク

ヴァイオリン奏者/カーティス音楽院ヴァイオリン科及び室内楽科(弦楽)教授

野平一郎

作曲家 ピアノ奏者/東京藝術大学作曲科教授

5) 運営

主催:東京国際ヴィオラコンクール実行委員会
共催:上野学園 石橋メモリアルホール
制作:テレビマンユニオン

2. 出場申込について

- 1) 出場資格 1986年7月1日以降に出生の者。国籍不問。
- 2) 申込期間 2017年2月1日(水)～2017年11月1日(水)(必着)

3) 申込に必要なもの

出場希望者は、以下①～④のすべてを揃えて東京国際ヴィオラコンクール運営事務局に提出すること。

- ① 出場申込書(すべての項目に記入のこと。提出後の変更は認めない。)
東京国際ヴィオラコンクールのウェブサイト『申込用紙ダウンロード』からダウンロードのこと。
- ② 写真データ
2017年2月以降に撮影したカラー写真。上半身正面、印刷物に使用できる品質(解像度300dpi以上)のもの。紙焼き不可。郵送する場合はデータをCDに保存し、表面に自分の名前をアルファベット表記で明記のこと。
- ③ 年齢を証明できる書類のデータ(パスポートのコピー等)
- ④ 予備審査の課題曲演奏を撮影した映像データ(詳しくは5ページ、課題曲の項を参照)
2017年2月以降に収録したもの。演奏者の全身が見え、顔、腕、手指が識別できる距離で収録された、編集されていないもの。ただし、曲間、および各楽章間はトラック分けすること。映像はデータ送信あるいはDVDにて提出のこと。いずれの場合も氏名、曲名、撮影日及び撮影場所をアルファベット表記で明記すること。

4) 申込書類提出方法

- a. インターネットによるデータ送信
上記3)①～④までを全て、1つのフォルダにまとめて保存し、適切なデータ送信システム(※)を用いて送る。各ファイルに上記3)①～④の番号を付け、フォルダ名には出場申込者の名前をアルファベット表記で明記すること。

※参考: 利用に適したデータ送信システムの例

- ギガファイル便 <http://gigafile.nu/>
 Vimeo <https://vimeo.com/>
 BitSend <https://bitsend.jp/>

【送付先】 e-mail: tivc@tvu.co.jp

- b. 郵便書留、宅配便等、配達証明が可能な手段による送付

【送付先】

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山South棟
テレビマンユニオン内「東京国際ヴィオラコンクール運営事務局」 電話: 03-6418-8617

<提出に際しての注意>

- 一回の送信/送付にて全てを揃えて提出すること。提出物を分けての申込は受け付けない。
 提出書類に不備がある場合には申込を受け付けない。
 提出書類等の配達中の紛失については、コンクール運営事務局はその責任を負わない。
 提出書類は返却しない。

5) 予備審査

コンクールの出場者を決定するため予備審査を行う。予備審査は応募者から提出された書類及び映像によって行う。予備審査の結果は2018年1月末日までに応募者全員にメールにより通知する。

3. コンクールへの出場について

1) 参加料

予備審査を通過した者は、参加料として、日本円で20,000円を2018年2月28日(水)までに支払うこと。支払方法については予備審査通過者に別途連絡する。指定の期日までに参加料が支払われない場合、コンクール参加の承認を取り消すこととする。振込手数料は本人の負担とする。参加料はいかなる理由があっても返金しない。

2) 旅費と旅費補助

原則、旅費は全て本人が負担すること。但し、第1次審査通過者には下記のとおり居住地域に応じて定める額を補助することがある。支給される金額については、日本の法律により源泉徴収をする必要がある際は、これを控除した上で支給する(税率は原則として20.42%)。

地域…補助する金額

南北アメリカ／ヨーロッパ／オセアニア／アフリカ地域…6万円

アジア地域…3万円

3) 滞在費と滞在費補助

原則、滞在費は全て本人が負担すること。但し、東京近郊以外に居住する者でコンクール運営事務局が必要と判断した出場者については、出場登録日(5月24日)から下記の期日まで、コンクール運営事務局が指定する宿泊施設を利用する場合に限り、出場者の宿泊料金(シングル1名の基本室料)を運営事務局が負担する。

第1次審査通過者…第1次審査終了日の翌朝まで

第2次審査通過者…第2次審査終了日の翌朝まで

本選出場者…本選の翌朝まで

入賞者…入賞者記念ガラ・コンサートの翌朝まで

4) 共演者

第1次、第2次審査、本選①の共演は、コンクール運営事務局が指定する演奏家が行う。練習時間、場所などはコンクール運営事務局が指定する。コンクール出場者本人の希望で共演者を同伴する場合は、その費用(旅費、滞在費等)のすべてを出場者の責任において負担することとし、それらに係る手配も出場者が行う。

本選②の共演者は、コンクール運営事務局が指定する演奏家で行う。練習時間、場所などはコンクール運営事務局が指定する。

5) 賞

第1位…100万円

第2位…60万円

第3位…30万円

* 授与される金銭について、日本の法律により源泉徴収をする必要がある際は、これを控除した上で支給する。

6) 特別賞

聴衆賞…10万円 * 本選来場者の投票によって選出

入賞記念コンサート、入賞記念ガラ・コンサートへの出演

2019年以降のヴィオラスペースへの出演

* 授与される金銭について、日本の法律により源泉徴収をする必要がある際は、これを控除した上で支給する。

4. その他

1) 査証取得

コンクール出場のために入国査証が必要な場合は、出場者本人の責任で入国査証を取得すること。共演者の入国査証についても同様とする。なお、査証取得のため招聘状等を必要とする場合は、コンクール運営事務局に申請すること。

2) 保険

コンクール出場時の出場者及び共演者自身の健康、傷害に関する保険及び楽器、手荷物、その他の所持物品の事故、火災、盗難、破損に関する保険は、出場者及び共演者自身が加入すること。

3) 著作権隣接権

本コンクールで行われる演奏及び式典、審査、関連催事に関し、出場者及び共演者の放送権、上演権、録音権、録画権、出版権、肖像権等の諸権利は、主催者である東京国際ヴィオラコンクール実行委員会に帰属する。

4) 日本の法律への準拠

この応募要項に関して発生する問題は、日本語の本要項に基づき、かつ日本の法律に準拠して解決される。

5) コンクール期間中の演奏活動

コンクール出場者は、コンクールに関わるもののほかは、コンクール期間中にいかなる演奏活動も行ってはならない。ただし、通過できなかった審査段階以降については、この限りではない。

5. スケジュール

2017年 2月1日	出場者募集開始
11月1日	出場者募集締め切り
2018年 1月末	予備審査通過者へ結果通知
2月28日	参加料納入締め切り
5月24日 5月26日～6月3日	出場登録～公式練習 第1次審査 第2次審査 本選①② 入賞記念コンサート ワークショップ ガラ・コンサート
6月4日～	入賞記念ガラ・コンサート

6. 課題曲

1) 予備審査 下記の2曲の演奏の映像を提出のこと。P2の2.3)④に記載された録画に際しての注意を厳守のこと。

①下記の作品よりいずれか1曲

- レーガー:無伴奏ヴィオラ組曲 第1番 ト短調 作品131d-1
- レーガー:無伴奏ヴィオラ組曲 第2番 ニ長調 作品131d-2
- レーガー:無伴奏ヴィオラ組曲 第3番 ホ短調 作品131d-3

②下記の作品よりいずれか1曲 【暗譜】

- テレマン:無伴奏ヴィオラのための12のファンタジーより 第2曲 ハ長調
- テレマン:無伴奏ヴィオラのための12のファンタジーより 第3曲 変ロ短調
- テレマン:無伴奏ヴィオラのための12のファンタジーより 第4曲 ト長調
- テレマン:無伴奏ヴィオラのための12のファンタジーより 第5曲 ニ長調

2) 第1次審査 下記の2曲を演奏のこと。

③シューベルト:アルペジオーネソナタ イ短調 D821 よりいずれか1つの楽章

※演奏する楽章については第1次審査当日の朝に発表する。

④ブリテン:無伴奏チェロ組曲(編曲:今井信子/出版:Faber Music)より下記のいずれか1曲 【暗譜】

- 第1番より II. Lamento (Lento rubato)、VI. Moto perpetuo e Canto quarto (Presto)
- 第2番より V. Ciaccona (Allegro)
- 第3番より V. Dialogo (Allegretto)、VI. Fuga (Andante espressivo)、VII. Recitativo (Fantastico)
VIII. Moto Perpetuo (Presto)

3) 第2次審査 下記の4曲を演奏のこと。

⑤武満徹(細川俊夫編曲):ア・ストリング・アラウンド・オータム(ヴィオラとピアノ版)

⑥J.S.バッハ:フーガ ハ短調 【暗譜】

(原曲:無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第1番 ト短調 BWV1001 よりフーガ)

⑦野平一郎:第4回東京国際ヴィオラコンクール委嘱作品

⑧下記の作品よりいずれか1曲

- シューマン:アダージョとアレグロ 作品70
- シューマン:幻想小曲集 作品73
- シューマン:3つのロマンス 作品94
- シューマン:ヴァイオリンソナタ 第1番 イ短調 作品105より第1、2楽章(ヴィオラ用に各自で編曲のこと。)
- シューマン:おとぎの絵本 作品113

4) 本選① 下記の2曲を演奏のこと。

⑨下記の作品よりいずれか1曲

- ブラームス:ヴィオラソナタ 第1番 ヘ短調 作品120-1
- ブラームス:ヴィオラソナタ 第2番 変ホ長調 作品120-2
- ブラームス(リーブル編曲):ヴィオラソナタ ト長調(出版:Edition Peters)
(原曲:ヴァイオリンソナタ 第1番 ト長調 作品78)

⑩下記の作品よりいずれか1曲

- B.A.ツインマーマン:無伴奏ヴィオラソナタ(1955)
- リゲティ:無伴奏ヴィオラソナタ(1991-1994)より第1、第6楽章
- 野平一郎:戸外にて~ヴィオラ・ソロのための(2003)よりいずれかの2つの楽章
- 西村 朗:無伴奏ヴィオラソナタ 第1番<旋回舞踊>(2005)
- 西村 朗:無伴奏ヴィオラソナタ 第2番<C線のマントラ>(2007)
- ノックス:無伴奏ヴィオラのための“Fuga libre”(2009)*第1回東京国際ヴィオラコンクール委嘱
- 細川俊夫:ヴィオラのための“哀歌”-東日本大震災の犠牲者に捧げる-(2012)*第2回東京国際ヴィオラコンクール委嘱
- 藤倉 大:Engraving for viola (2014) *第3回東京国際ヴィオラコンクール委嘱

5) 本選② 下記を演奏のこと。

⑪ヒンデミット:白鳥を焼く男 【暗譜】